



9月10日は「下水道の日」です

■下水道の日とは？

「下水道の日」は、当初昭和 36 年に、著しく遅れている下水道の普及に向けた取組を全国的に展開するため、下水道を所管していた建設省、厚生省、日本下水道協会が協議して「全国下水道促進デー」として始まりました。21 世紀のスタートにあたる平成 13 年、旧下水道法が制定された明治 33 年から 100 年を迎え、記念行事などが行われたことから、近年の下水道に対する認識の高まりもあり、より親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。

■なぜ9月10日なの？

9 月 10 日と定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである 210 日を過ぎた 220 日（立春から数えて）が適当であるとされたことによるものです。

■本市の取り組み

本市では「下水道の日」にちなみ、令和4年9月 12 日（月）までの間、上下水道部が所在する登米市役所登米庁舎に横断幕とのぼり旗を揚げます。

今後も、登米市下水道事業キャラクター「水守（みもる）さん」と一緒に、様々なイベント等でPRしていきます。

